

H30 海外臨床実習

番号	氏名	渡航先	国・地域	渡航先での受入期間
1	K. P	モナッシュ大学アルフ レッド病院	オーストラリア	H31/1/29-H31/3/1
2	M. K	モナッシュ大学アルフ レッド病院	オーストラリア	H31/1/29-H31/2/28

平成30年度岸本国際交流奨学金による海外活動実施報告書

医学部医学科 5年

学生氏名 K. P

一週間のスケジュール例

	月	火	水	木	金
AM(7時～15時)	ED シフト	ED シフト	研修医 レクチャー (13時～15時)	-	OFF
PM(14時～22時)	-	Consultant による レクチャー (13時～15時)	ED シフト	ED シフト	

1月29日～3月1日までの5週間、モナシュ大学附属アルフレッド病院の救命救急科(Emergency Department: ED)にて実習させていただいた。目的は救命救急科に関する臨床知識を学びながら、海外の病院・保険制度、疾患への対応、日本であまりみられない症例について学ぶこと。また、海外では医学生が常に患者を問診したり、採血したりするので実践的な勉強になることを期待できる。最後に国際医療の準備のため、医学英語を勉強することも目標とした。

現地の学生と一緒に回るようになったため、選択実習生(Elective student)でなく、現地の学生の一員として取り扱われた。アルフレッド病院の救命救急科では、完全なシフト制であり、学生は午前7時から午後3時までのモーニングシフトと午後2時から午後10時までのアフタヌーンシフトとに割り当てられた。毎週、学生たちが新しいシフトを決めるので毎週そのシフトは変わる。それに加えて、週1,2回にConsultantによるレクチャーが行われた。Consultantとは専門医取得済の医師であり、専門知識を有するスペシャリストのことである。その方はクリクラの学生担当として毎週救急シミュレーションの形でレクチャーを行ってくださった。テーマは毎回異なるが、挙げられたテーマとしては輸液・輸血の管理、敗血症、胸痛・頭痛・腹痛の鑑別診断、ABCD蘇生法などがあった。本レクチャーは非常にインタラクティブで、先生が症例をあげて順番で各学生に質問をしてから、適正な対応を教えてくださいました。人形を用いて、経鼻胃管や挿管チューブなどの正しい使い方も教えていただいた。また、毎週水曜日の午後1時～3時に当院の研修医(Intern)向けのレクチャーに参加させていただいた。ここでは、抗菌薬の選択や手技などを研修医の先生と一緒に学んだ。

ED シフトでは学生が担当の先生に付いて先生のやることを見学する形 (Shadowing) でなく、基本は学生が ED で働いている医師または看護師にアプローチして問診や手技をやらせてもらうことが一般的である。通常の仕事は待機中の救急外来患者に問診をとったり、身体診察を行ったりした後、得た病歴をその患者の担当医師に発表し、鑑別診断と適正な治療をその先生と一緒に考えることであった。採血やカニューレ挿入が必要な場合は学生がその手技を行うのは一般的である。採血結果が出たら、また先生と相談するという流れであった。救急外来の他に、resuscitation 部という救急対応が必要な患者が運ばれてくるところがあった。そこで心肺停止の患者、交通事故の負傷者、重症熱傷の患者などの緊急性が高い症例への対応を観察することができる。学生がカニューレ挿入や縫合をやらせてもらうことはめったにあるが、多くの場合に学生が観察するのが基本であった。シフトの最後に申し送りがあり、それに参加した後シフトは終わりである。

本実習に参加することによって、救命救急科の臨床知識だけでなく、医学英語能力および臨床現場でのコミュニケーション力も非常に高まってきた。また、日本でなかなか見られない症例が通常に見られた。例えば、薬物乱用、自殺未遂、アルコール中毒、Domestic violence が毎日みられた。それによって、希少な症例への対応について学ぶことができた。日本の医学生と違って、オーストラリアの医学生は採血とカニューレ挿入を行うことができるため、今回の実習を通じて何度も採血とカニューレ挿入の練習ができ、研修医の仕事の準備にもなった。さらに、救急外来では学生が First 対応なので問診時に何を聞いたら良いか、どのような身体診察を行ったら良いか、どうやって担当の先生に簡潔にプレゼンできるのかを考えなければならない。それは医師にとって非常に重要なスキルである。今回の実習のおかげでそれらのスキルが飛躍的に向上した。

今回の実習に行って良かったと思った点が何点かあるが、最も大きな壁は医学英語であった。疾患の名前や医学略語がわからないせいで、ほかのスタッフとのコミュニケーションが難しいときは少なくなかった。将来日本国内で働くこととしても外国出身の患者を診たり、海外の研究所と協力したり、国際会議に参加したり医学英語に接する機会はあると思うので医学英語をしっかりと勉強しておきたい。また、今回 First Line として外来患者を診させていただいたおかげで、初診時の問診および身体診察の重要性がわかってきた。今後もこの 2 点を練習していこうとする。日本の医学教育は、オーストラリアと比べてまだ Shadowing 中心で学生がやれる範囲が狭く、実践度が比較的に低いと思うため、もし可能であれば将来の日本医学教育が一層実践的になるように尽力していきたいと思っている。

本海外実習に際し、奨学金を支援してくださった岸本先生、奨学金申請を許可してくださった医学科教務委員会、留学を許可してくださった先生方、留学先と連絡してくださった教育センターの皆様、アルフレッド病院救命救急科の先生方に心より感謝申し上げます。おかげさまで本実習の目標を達成することができ、大変有意義な勉強ができました。本実

習で得た経験や知識を利用し、自分の成長および社会の向上を目標とし尽力して参ります。厚く御礼申し上げます。

平成 30 年度岸本国際交流奨学金による海外活動実施報告書
(モナシュ大学・循環器内科)

医学部医学科 5 年
学籍番号 : *****
氏名 : M.K

- 実習期間 : 2019 年 1 月 29 日 (火) ~ 2 月 28 日 (木)
- 実習場所 : モナシュ大学・アルフレッド病院

➤ 活動の目的

QS 世界大学ランキング 65 位のモナシュ大学はメルボルンに位置し、オーストラリアでも屈指の公立病院として機能しています。救急医療や移植医療において特に盛んな医療が行われており、その現場で欧米・オセアニア圏の医療を経験したいと思い、循環器内科あるいは救急科での実習を希望しました。審査と調整の結果、希望通り循環器内科・移植チームでの実習を行うことになりました。

➤ 内容

初日はオリエンテーションの後、IV (静脈路確保) の試験を受け、実際の患者にに対し IV cannulation を実施する資格を取得しました。その後、循環器内科の実習監督者である Dr. Bergin に会い、第 1~3 週は心不全チーム (以下 CAHF)、第 4~5 週は一般循環器チーム (以下 CAGE) にて実習を行うことになりました。

CAHF では、主に重症心不全の患者を診ることになりました。心移植後の患者も数名おり、その管理について 3 週間の間によく教えてもらえました。心不全において用いる利尿剤や降圧薬の管理、移植後に用いる免疫抑制剤の使用や血中濃度の測定、感染予防プロトコルや感染時の抗菌薬・抗真菌薬使用についてなど、主に薬物の使用や検査について学びました。他に、心不全患者の院外での長期的な治療と管理について先生と議論検討し、オーストラリアの地域医療・在宅医療について考える機会を得ることができました。外来見学では移植後 1 年以上の患者や比較的軽症の心不全患者の外来を見学しました。

4 週目以降 2 週間、CAGE にて主に冠動脈疾患の治療について勉強しました。カテーテル室で PCI や TAVI、BAV など様々な症例を見学することもできました。CAGE チームでは興味を持った症例について、患者の問診・診察を行い、先生に発表する機会が与えられ、私は 2 症例について発表を行うことで多くの経験を積むことができました。外来では、冠動脈疾患治療後の患者の薬物治療や生活指導について学ぶことができました。

5 週間の間、現地の学生と全く同じように扱ってもらうことで、課題をこなし、オーストラリアの医療制度について勉強する機会を得ることができました。

➤ 成果

昨年 11 月のクリニカルクラークシップで循環器内科を回り、基本的な知識は会得していましたが、アルフレッド病院では特に心移植後の患者の管理について多く学ぶことができました。日本と比較して心移植件数が多いオーストラリアならではの実習になったと思います。また、病棟や外来を見学することで、オーストラリアと日本の医療の違いについて考える機会を得られました。オーストラリアは GP (general practitioner) 制度が非常に発達しており、日本と比較して総合病院の外来にゆとりがあるように感じました。総合病院の担当医と GP の連絡ツールもしっかり確立されており、患者の情報を適切にやりとりするシステムは非常にしっかりしていました。

オーストラリアは先住民族 (アボリジニー) の健康指導や地域医療についても学生の段階で勉強するようにカリキュラムが組まれています。それに則って実習を行うことで、オーストラリアの医療における課題や文化的側面を知ることができました。

➤ 今後の抱負

本実習では、心移植という非常に高度な医療に関する多くの知識を得ることができ、非常に有意義な時間となりました。また、欧米の GP 制度を実際に目の当たりにし、日本とは大きく違うその制度の利点・欠点についてよく考える機会となりました。今後は本実習での経験を活かし、日本の移植医療の発展、あるいは医療制度の更なる充実に貢献できるよう、精進したいと思います。

➤ 謝辞

この度、本実習を支援してくださった岸本先生および岸本国際交流奨学金制度に関わる先生方、本実習を整えてくださった医学部教育センターの和佐先生・河盛先生・西川先生とその他先生方、および実習でお世話になった国立台湾大学小児病院の先生方に深く御礼申し上げます。

➤ 実習スケジュール

[第1～3週：Heart Failure Team]

1/29 Tue

- 9:00～10:00 オリエンテーション
- 10:00～11:30 病棟案内
- 11:30～12:30 meeting
- 13:30～15:30 外来見学
- 15:30～16:00 IV cannulation 試験

1/30 Wed

- 8:00～10:00 ward round
- 10:00～13:00 病棟見学
- 14:30～17:00 カテーテル見学
- 17:00～17:30 cath conference

1/31 Thu

- 8:00～9:30 ward round
- 9:30～10:30 心筋生検見学
- 10:30～12:00 病棟見学
- 13:00～15:00 カテーテル見学

2/1 Fri

- 7:30～8:30 heart transplant conference
- 8:30～9:30 conference
- 9:30～12:30 ward round
- 14:00～16:30 カテーテル見学

2/4 Mon

- 8:00～10:30 ward round
- 10:30～11:30 病棟見学
- 13:00～16:00 外来見学

2/5 Tue

- 8:00～9:00 meeting
- 9:00～12:00 ward round
- 13:30～16:00 外来見学

2/6 Wed

- 8:00～11:00 ward round
- 13:00～17:00 病棟見学
- 17:00～18:00 cath conference

2/7 Thu

7:30~9:00 teaching lecture

9:00~11:00 ward round

11:00~12:00 病棟見学

13:30~15:00 病棟見学

2/8 Fri

7:30~8:00 heart transplant conference

8:00~8:30 conference

8:30~10:30 ward round

10:30~11:30 病棟見学

13:00~14:30 病棟見学

2/11 Mon

8:00~10:00 ward round

10:00~12:00 病棟見学

14:00~15:00 病棟見学

2/12 Tue

8:00~9:00 meeting

9:00~11:00 ward round

11:00~12:00 病棟見学

13:30~16:30 外来見学

2/13 Wed

8:00~10:00 ward round

10:00~11:30 病棟見学

17:00~18:00 cath conference

2/14 Thu

7:30~8:30 teaching lecture

8:30~10:30 ward round

10:30~11:30 症例発表 (MCR)

13:30~16:00 病棟見学

2/15 Fri

7:30~8:30 heart transplant conference

8:30~12:00 ward round

12:00~13:00 病棟見学

14:00~15:00 自主学习 (library)

[第 4~5 週 : General Cardiology Team]

2/18 Mon

8:30~12:00 ward round

13:30~16:00 病棟見学

2/19 Tue

8:00~9:00 meeting

9:00~12:30 ward round

13:30~15:00 病棟見学

2/20 Wed

8:30~12:00 ward round

13:00~17:00 病棟見学

17:00~18:00 cath conference

2/21 Thu

7:30~8:30 teaching lecture

8:30~11:00 ward round

11:00~13:00 病棟見学

2/22 Fri

8:00~10:30 ward round

10:30~12:00 病棟見学

13:30~15:30 カテーテル見学

2/25 Mon

8:00~10:00 ward round

10:00~12:00 病棟見学

13:30~16:00 外来見学

2/26 Tue

8:00~9:00 meeting

9:00~10:30 ward round

10:30~12:30 病棟見学

13:30~14:30 病棟見学

2/27 Wed

9:00~11:00 ward round

11:00~12:30 病棟見学

13:30~17:00 病棟見学

17:00~18:00 cath conference

2/28 Thu

7:30~8:30 teaching lecture

8:30~11:00 ward round

11:00~12:00 実習報告 (実習監督者の Dr. Bergin に対して)